

金日成主席の業績に対する深みのある研究と 民主コンゴ共和国人民大衆の社会的参与

民主コンゴ・チュチェ思想研究全国協会書記長
マシスト大学教務主任
ムゼネ・オベオ・ベル・ペルディナン

金日成主席は次のように述べています。

「革命家はつねに、人民を信頼し人民に依拠すれば百戦百勝するが、人民に見捨てられれば百戦百敗するという真理を生と闘争の座右の銘とすべきである」

この文では、金日成主席の特徴といえる人間に対する主席の芸術と科学的方法についてより具体的に話すことにします。

人民を天のごとくみなした金日成主席は人民の支持を得ずには何の活動もおこないませんでした。

金日成主席が収めたすべての業績は人民のために、人民と一緒に、人民によって収めたものです。

人民を天のごとくみなしたがゆえに、金日成主席はチュチェ思想を創始し、実践に適用してチュチェの社会主義国家を建設することができました。

金日成主席は日本帝国主義者によって奪われていた祖国を取り戻しました。

全朝鮮人民はいかなる敵からも 5000 年の歴史を持った祖国を命を賭して守る覚悟に満ちています。

世界のどの政党とも異なって、朝鮮労働党は真の革命的党であり、国家と新社会建設のための政治的参謀部です。

金日成主席が収めた不滅の業績は今も植民地の境遇にさらされている世界各民族に、特にアフリカ、ましては民主コンゴの人民に思索の余地を与えています。

民主コンゴでわれわれの前世代は調和のとれた都市建設と植物園、あるいは幸せな生の拠り所を建設するために大衆運動を断行しようとしたが、内部の深刻な矛盾と植民地主義者の妨害の策動によってこの巨大な活動を始めませんでした。

そして朝鮮人民を立派に改造した金日成主席の模範にならってコンゴの人々を改造させることができませんでした。

実際、今のコンゴには真の意味でのコンゴ人がおらず、ベルギー人とザイル人、そして移住民が住んでいます。

われわれは、自分固有のコンゴ人改造活動を通じて彼らを責任的な人間、自分

自身の主人に改造させるために努力しています。

1960年から民主コンゴの人民大衆は計画的な人間虐待の広範囲な現象とも言える悪夢のような生活を続けています。

民主コンゴの人民大衆が国の独立のための闘争に総決起するためには彼らが抗争運動と革命、独立運動と民主コンゴの発展と安全保障において真の推進力になるべきです。

もし、彼らが政治、経済、社会、安全及び思想の諸分野で自己の役割を果たせないと、彼らは権利と義務の主体ではなく、品物や商品、獣扱いされる境遇から逃れることができません。

民主コンゴの人民大衆よ、植民地主義の略奪的秩序に立ち向かい団結しよう。

民主コンゴの人民大衆よ、自分の腹ばかり肥やしている悪の帝国に反対する闘争に立ち上がろう。

みなさんが目撃している通り、民主コンゴ人民大衆の社会的参与は深刻な問題を呼び起こしています。

われわれの探求によると民主コンゴの人民大衆に欠けているのは、彼らの中にベルギー人やザイル人、他の民族といった偽りの身分ではなく、自分たちが真の身分である民主コンゴ人ということを自覚させうる指導者です。

独立以後、どの政治体制も民主コンゴの人民をひとつに結束し、民族的団結と革命的隊伍の結束を実現することができませんでした。

この国の人民は病気にかかり死にかかっても関わりなく牛乳を搾られる獣扱いされています。

いまこそ、民主コンゴで社会主義朝鮮に見習って平和な繁栄する、進歩的な新しい世界秩序を樹立するために、自分の真の役割を世界舞台で果たすべき時期です。